

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	高照度防犯灯整備事業			事業番号	16-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	竹内 克則	市民協働課交通防犯対策担当	高梨 剛	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち		
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり		
		施策展開の方向	1	暮らしの安全を守るまちをつくる		
		施策	16	地域とともに取り組む防犯対策の推進		
予算事業名	防犯灯維持管理費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-	
関連法令等	-					
国・県の計画等	-			計画期間	-	
関連個別計画	-			計画期間	-	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	夜間の犯罪抑止と安心感の向上を図るため、経年劣化等による既存の20W型防犯灯の高照度(LED)化や地元要望に基づく新設を推進する必要がある。					
目的 (何をどうしたいのか)	夜間の歩行者等の安全性を高め、市民を犯罪から守るため、犯罪防止につながる環境整備を行う。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民					
事業内容 (手段、手法など)	・経年劣化しているすべての20W蛍光管等の防犯灯をESCO事業手法を用いて、一斉に高照度のLED灯へ交換し、より質の高い防犯環境の整備に取り組みます。					
事業行程	項目	年度				
		28年度	29年度			
	防犯灯(20W)のLED化・新設	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度			
			28年度	29年度		
	市内にある全防犯灯のLED化	1,726基	7,577基	7,577基		



事業実施(Do)へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	ESCO方式による防犯灯LED化事業により、市内全域の20W型蛍光灯防犯灯を全灯LED化することにより、夜間における歩行者等の安全・安心を確保する。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	防犯灯(20W)のLED化・新設	継続実施		
実施した取組の内容	・夜間の歩行者等を犯罪から守るため、通勤・通学路等へ設置した20W型蛍光灯等の市内全ての防犯灯を、平成28年度にESCO事業により一括してLED化し、環境負荷や維持管理等の負担軽減を図った。 LED防犯灯設置基数 7,611基(交換5,294基 新設145基 既設2,172基)			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	市内にある全防犯灯のLED化	1,726基	7,611基	

年度		28年度 実績				29年度 実績			
内訳	事業費合計 (a)	1,992		千円		千円			千円
	国県支出金 ①	0		千円		千円			千円
	地方債 ②	0		千円		千円			千円
	その他特財 ③	500		千円		千円			千円
	一般財源 (a)-①-②-③	1,492		千円		0		千円	
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他	まちづくり市民ファンド寄附金積立金からの繰入金						
人件費	正規職員	0.25	人	2,163	千円		人		千円
	その他の職員	0.06	人	146	千円		人		千円
	人件費合計 (b)	0.31	人	2,309	千円		人		千円
トータルコスト (a)+(b)				4,301	千円				千円
単位当たりコスト	対象数	定義	LED防犯灯の整備基数		単位				単位
		対象数	7,611		基				
	総事業費 / 対象数	565		円					円

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	・ESCO事業方式による防犯灯の全灯LED化事業について、計画どおり実施することができた。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市事業内容等	・平成28年度において、ESCO事業方式による防犯灯の全灯LED化が完了し、近隣市同様の水準を確保することができた。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	・夜間の犯罪抑止や歩行者等の安全を確保するため、市内の防犯灯を全灯LED化するとともに、必要な箇所には、新たにLED防犯灯を設置することができた。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	・LED防犯灯に変更することにより、消費電力や二酸化炭素搬出量を削減し、維持管理コスト及び環境負荷等の軽減を図ることができた。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	平成28年度において、市内の防犯灯を全灯LED化することができたが、今後も引き続き、必要な箇所への新設を進めていく必要がある。
次年度取組方針		平成29年度以降も、自治会からの要望などにより、必要な箇所へ防犯灯を新設する。(防犯灯の新設及び維持管理は、ESCO事業において実施する。)		
所管部長による総評		<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯を全灯LED化できたことにより、市内全域にわたる防犯環境の整備を大きく進展させることができた。 ・防犯灯のLED化は、夜間の歩行者を犯罪から守り、市民生活の安全度、安心感などの体感治安を向上することができ、更に環境負荷の低減と維持管理費の節減にも有効であることから、今後も引き続き必要な箇所への設置を進めていく。 		